

**2009年9月改訂(第5版)

*2005年7月改訂

貯 法：2～8℃保存(凍結不可)

使用期限：直接の容器、外箱に表示(3年)

注 意：使用後は汚染を防ぐため

スポイトキャップをよく締めること。

アレルギー検査薬

診断用スクラッチエキス 牛乳

*処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること

日本標準商品分類番号

87729

薬価収載 1965年12月

販売開始 1965年10月

再評価結果 1989年9月

販 売 名	承 認 番 号
アレルギースクラッチエキス「トリイ」牛乳	(40A)4655

【組成・性状】

販 売 名	アレルギースクラッチエキス「トリイ」牛乳
組 成	本剤は原料(牛乳)を50%グリセリン食塩溶液で抽出して得た特異的アレルギーを含むもので、原料重量に対し、10倍液(1:10)である。
添 加 物	濃グリセリン50%(w/w) 塩化ナトリウム5%(w/w)
原料の由来等	1. 原料 牛乳は、飼育管理された健康な牛(ホルスタイン種又はニュージャージー種)の乳である。 2. 牛乳のウイルス及び牛の細菌の検査 (1)牛乳のウイルス検査 ウシ伝染性鼻気管炎ウイルス、ウシRSウイルス、ウシウイルス性下痢—粘膜病ウイルス、ウシアデノウイルス3型、ウシエンテロウイルス、ウシバルボウイルス1型についてウシ継代細胞(精巣、腎)及びvero細胞を用いたウイルス否定試験陰性の牛乳 (2)牛の細菌検査 下記の細菌が定期的検査において陰性の牛 ウシ結核、ブルセラ、ヨーネ 3. その他 搾乳された生乳は、低温殺菌(62℃～65℃、30分)する。
性 状	本剤は無色～淡黄色澄明の液である。

また、皮膚反応検査を実施する約1週間前から投与を中止することが望ましい薬剤があるので注意すること。

(6)反応が陰性を示したときでも、問診等から原因アレルギーとして特に疑われる場合には、日を改めて再検査することが望ましい。

** (7)非選択的β遮断薬服用患者への注意

検査のために本剤が投与されたときに、本剤による反応(アレルギー反応)が強くなる可能性がある。また、本剤によるアレルギー反応の処置のためにアドレナリンを投与したとき、アドレナリンの効果が通常の用量では十分発現しないことがある。

2. 副作用

(1)重大な副作用

ショック(頻度不明)

ショックを起こすことがあるので、観察を十分に行い、くしゃみ、蕁麻疹、血管浮腫、不快感、口内異常感、喘鳴、耳鳴等があらわれた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

(2)その他の副作用

観察を十分に行い、次のような症状があらわれた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

	頻度不明
過 敏 症	喘息発作の誘発、眼瞼又は口唇の浮腫、発疹、掻痒等

3. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので検査に際しては注意すること。

4. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

ヒスタミンは子宮筋収縮作用を有することが知られているので、妊娠中はヒスタミン遊離が考えられる広範なテストは避けること。

** 5. 適用上の注意

** (1)投与時

別途販売のスクラッチエキス用対照液(アレルギースクラッチエキス対照液「トリイ」)を同時に用いて反応を比較すること。

(2)判定時

真菌類のエキスは、遅延型反応を認めることがある。

【包 装】

1 mL点滴用スポイト付瓶

【文献請求先】

鳥居薬品株式会社 お客様相談室

〒103-8439 東京都中央区日本橋本町3-4-1

TEL 0120-316-834

FAX 03-5203-7335

製 造
販 売 元



鳥居薬品株式会社

東京都中央区日本橋本町3-4-1